



NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-10MMT

取扱説明書

このたびは、ヤマハ スピーカーシステムNS-10MMTをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NS-10MMTの優れた性能を十分に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本取扱説明書には、安全にお使い頂くために、関連機器（アンプ）を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。



保証書は手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万サービスが必要がある場合、実費をいただくことがありますので、充分にご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください。

目次

安全上のご注意	2
設置について	3
アンプとの接続	4
サラネット	5
参考仕様	5
ヤマハ ホットラインサービスネットワーク	6







安全上のご注意



(安全に正しくお使いいただくために)








ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示例

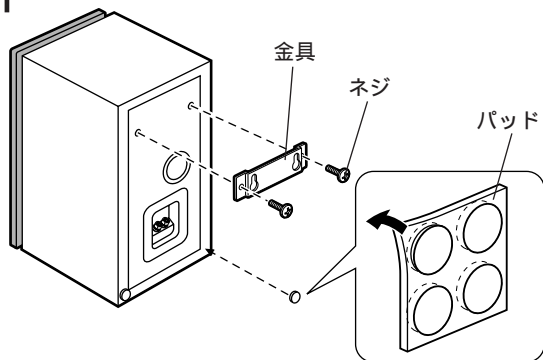
-  気をつけなければならない内容を表示しています。たとえば  は「感電注意」を示しています。
-  してはいけない「禁止」を表示しています。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
-  必ずしなければならない行為を表示しています。たとえば  は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

	<p>警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<p>本機の重量は、1.5kgあります。指定されたスピーカーブラケット以外のものを使って、天井や壁に取り付けしないでください。本機が落下すると、大ケガをして大変危険です。</p> <p>天井や壁への取り付けは、安全性確保の為、専門施工業者へ依頼してください。</p> <p>スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁等に固定してください。</p> <p>取り付け後は、必ず安全性を確認してください。またその後、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。</p>

	<p>注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p>風呂場では使用しないでください。故障の原因となります。</p>
	<p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。故障の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>本機を改造しないでください。故障の原因となります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また高いところに置く場合は落下防止の為、スピーカーを固定してください。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。車内への設置や使用はできません。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。</p>
	<p>移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>
	<p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。</p>
	<p>長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>

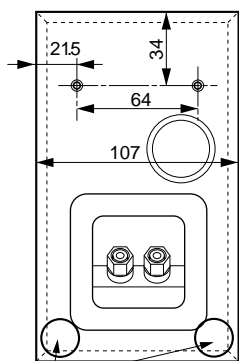
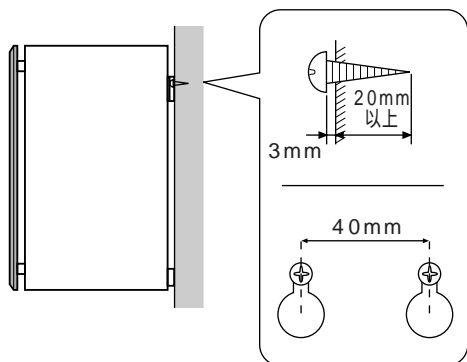
設置について

1

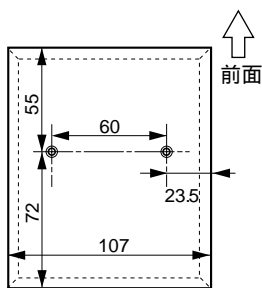


2

直径3.5～4mm程度の
タッピングネジ（市販品）



パッド貼付位置
スピーカー背面



スピーカー底面

単位：mm

リアスピーカーを壁に掛けて使用する場合は、付属の金具を使います。

- 1 付属のネジを使用して、金具をスピーカー背面に取り付けます。パッドは、スピーカー背面下側の隅に貼り付けます。
- 2 リアスピーカーを取り付ける壁側に2本のタッピングネジ（市販品：直径3.5～4mm程度）を40mm間隔にて取り付けます。スピーカーに取り付けた金具の穴をタッピングネジに引っ掛けます。
* タッピングネジが、金具の穴の狭い部分に確実に入っていることを確認してください。

ご注意

（重要なお注意です。必ずお読みください。）

スピーカーの重量は1台1.5kgです。ネジを止める場所には、しっかりとした壁または柱を選んでください。モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けしないでください。ネジが抜けてスピーカーが落下するとけがの原因になります。

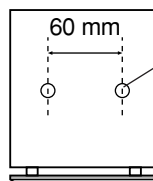
釘などの抜けやすいものは使用しないでください。長時間の使用や振動で抜けてスピーカーが落下するとけがの原因になります。

スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず固定してください。

取り付け後は必ず安全性を確認してください。

取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

付属の金具を使わずに、スピーカー底面の穴を利用して市販のスピーカースタンドなどに取り付けることもできます。



直径4mmのネジを使うことができます。
（ネジ穴の深さ：10mm）

ご注意

取り付け後は、スピーカーが確実に固定されているか確認してください。

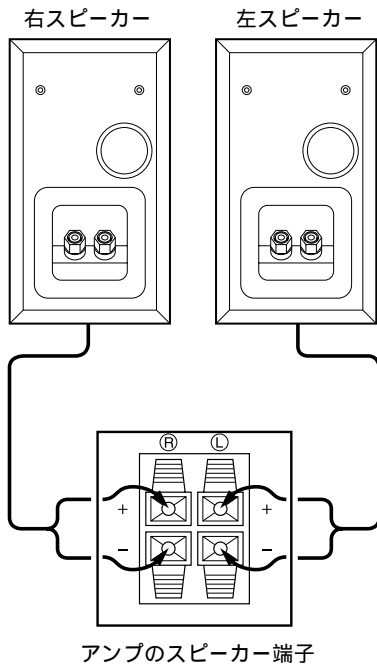
アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。

スピーカー背面のネジ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコード（片側、グレーライン極性表示付き）で接続します。

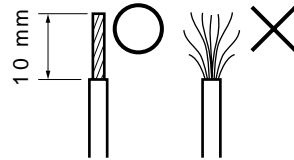
接続のしかた

- 1 アンプのスピーカー出力端子と本機背面のネジ式入力端子をスピーカーコードで接続します。本機の赤端子はプラス（+）、黒端子はマイナス（-）です。
- 2 左スピーカーはアンプのL（左）端子に、右スピーカーはアンプのR（右）端子に接続します。それぞれ極性（+、-）を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。
ご使用になるアンプによって端子名が異なることがあります。アンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。



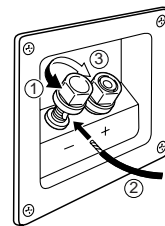
接続の前に

スピーカーコード先端の絶縁部分（ビニール）を引き抜き先をよじっておきます。（よじりながらビニールを引き抜くと芯線がバラバラになりません。）



スピーカーコードの接続

- ① 端子を左に回してゆるめます。
- ② スピーカーコードをスピーカー端子の穴に差し込みます。
- ③ 端子を右に回して締めつけます。
芯線部分が穴からはみ出していないかどうかを確認してください。

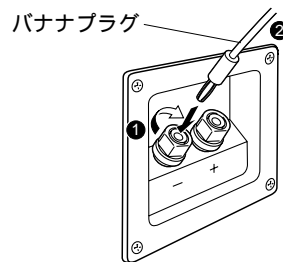


赤：+ 端子
黒：- 端子

バナナプラグの接続

- ① 端子を右に回して強く締めめます。
- ② スピーカーコードをスピーカー端子の穴に差し込みます。

端子には製品保護のためのプラスチックのハメ込みがしてあります。バナナプラグ使用時には必ず取り除いてください。



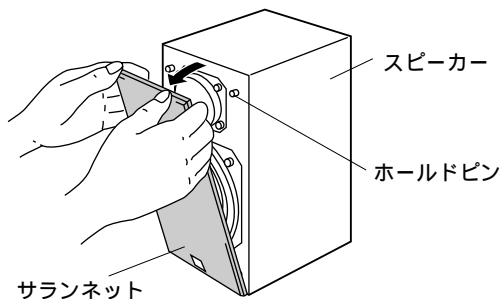
アンプについて

スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を加えないよう、ご注意ください。アンプのトーンコントロール（BASS・TREBLE等）やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号（テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音）を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

サラネット

サラネットは、はめ込み式で取り付けられています。取り外す場合は、サラネットの4隅を手前に引くと外れます。取り付けは、サラネット裏側ホルダーと本体側ホールドピンを合わせて、押し込みます。

(サラネットの布部分は押さえないでください。)



ご注意

サラネットを外した状態で、スピーカーユニット、特にツイーターに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。

スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。故障の原因となります。

本機は、防磁型設計となっておりますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じるときは、テレビとスピーカーの距離を離してご使用ください。

参考仕様

形式……………2ウェイパスレフ，防磁型
スピーカーユニット
ウーファー……………9cmコーン型
ツイーター……………2.5cmバランスドーム
再生周波数帯域……………75Hz～33kHz
インピーダンス……………6
許容入力……………40W
最大入力……………100W
クロスオーバー周波数……………7kHz
出力音圧レベル……………88dB/2.83V/m
外形寸法(W×H×D)……………107×191×141mm
重量……………1.5kg
付属品……………スピーカーコード 10m×2
……………スピーカーブラケット(取付金具)×2
……………バインド小ネジ×4
……………パッド(防振用)×4

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
上記の最大入力値以上の信号を加えないよう充分ご注意ください。



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会

「音のエチケット」

キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分いたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL (053) 460-3451

AV・IT品質保証部 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500 (転送)

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)芦屋丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズか変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。